

パブリックコメントについて

「神戸町第6次総合計画」素案について、令和6年12月11日（水）～12月24日（火）の期間においてパブリックコメントを実施しました。

その結果、以下の意見が寄せられましたので公表いたします。

住民からの意見	町の回答
P17 回収率が三割程度の調査にどれほどの意味があるのか疑問。町に不満を持っている層は回答しないのでは。	ご意見のとおり、配布 2,000 票に対して 662 票の回収であり、回収率が 33.1%となりました。今回のアンケート調査においては、通常の紙形式と併せWEBでも回答できる取組も行い、回収率の向上を図ったところです。今回の調査においては、様々なご意見が寄せられており、真摯に受け止めて、今後の行政運営に反映していきたいと考えております。
P32 令和 16 年(2034)人口 16,800 人はまず不可能では？ 来年 2025 年中に 17,000 人台になるのはほぼ確実。	町の総人口の予測については、今年度同時に策定を進めている「神戸町まち・ひと・しごと創生第3期人口ビジョン」において、町の状況等を分析して設定しているものです。あくまで推計であるため目標に到達するかは定かではありませんが、町として記載のとおり目標を掲げて、各種施策を展開していくこととしておりますので、ご理解賜りたいと存じます。
P59 人口が最盛期より2千人以上減っている時期に消防の四つ分団は必要なのか？半世紀も維持してきた分団(定数)の統廃合を再考すべき時期では。分団を減らせば経費の節約にもつながり、その分の予算を他にまわせます。	町では、令和2年度に「消防団の今後のあり方についての検討会議」を開催し、消防団の条例定数、団員の処遇改善、操法及び訓練内容の見直し、以上の3点を中心に、今後の消防団のあり方を検討し、令和4年度より新たな体制・訓練内容で活動し、状況に併せ工夫を重ねながら団員の確保と活動しやすい環境整備に努めています。 町といたしましては、人口減少や高齢化が進むなかにあっても、毎年発生する甚大な災害や火災等、いざという時に迅速かつ的確に行動できる消防団体制を確立するためにも、現在の分団を基本として、町における地域消防力の維持と強化を図っていきたく考えていますので、ご理解賜りたく存じます。
P75 博物館の類がないのに文化財の保護はできません。日比野五鳳美術館よりも資料を保存する施設(小規模な資料館でも)が必要。西濃地区で歴史資料館がないのは神戸だけです。図書館の一角だけでも歴史資料は守れます。	町として保存していくべき貴重な文化財については、今後予定している文化財台帳をデジタル化するアーカイブ事業をはじめ、文化財所有者、関係機関と連携して適切に保存・継承していく考えでありますので、ご理解賜りたく存じます。

<p>その他 養老鉄道広神戸駅の駐車場はもっと拡大してもよいのでは。空き家を潰して駐車場にするなど。名古屋圏通勤者の転出をつなぎとめる手段となっている。</p>	<p>町では、養老鉄道の存続のため、各駅においてパークアンドライドに取り組んでおりますが、今後も更なる利便性の向上のために沿線市町と連携して様々な取組を進めていきたいと考えています。今回いただきましたご意見も参考にしながら、町としてどのような取組ができるのかを検討してまいりたいと考えます。</p>
---	---